NEC

ETOSJX for シフトJIS V7.0

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、ETOSJX for シフトJIS V7.0(以下「ETOSJX」と省略します)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたソフトウェアのセットアップおよびアンインストールの方法を 中心に構成されています。ETOSJXをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

なお、システムを構築するにあたってはETOSJXのマニュアルが必要となります。 ETOSJXのマニュアルは、『ETOSJX for シフトJIS V7.0』のパッケージに含まれるCD-ROMに格納 されています。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++、Visual Studioは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・その他、本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

| 1章 | ご利用になる前に | 4 |
|------|----------------------|----|
| 1.1. | ランタイムライブラリの登録 | 5 |
| 1.2. | . 入力文字をJIS90範囲内に制限する | 6 |
| 1.3. | アプリケーション毎に入力方式を設定する | 8 |
| 1.4. | . 通常使うプリンターを固定する | 10 |
| 2章 | 動作環境 | 11 |
| 3章 | セットアップ | 12 |
| 4章 | アンインストール | 12 |
| 5章 | 注意・制限事項 | 12 |

1章 ご利用になる前に

ETOSJXのご利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

- 1. 本製品では、運用形態としてスタンドアロン形態とETOS通信GW接続形態のいずれかを 選択できます。
 - (a) スタンドアロン形態 従来のETOSJX for シフトJISと同じ運用形態です。
 詳細は、「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」を参照してください。
 (b) ETOS通信GW接続形態 従来のETOSWEB SERVERに相当する運用形態です。ETOS通信GWサーバを経由してホ

により上IOSMED SERVERCERTALLY SERVERCERTALLY SERVERCERTALLY SERVERCERTALLY SERVERCERTALLY SERVERCERTALLY SERVERCERT ストに接続します。 詳細は、「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参 照してください。

- 2. インストールを行う場合は、必ずSETUP. EXEを起動してください。
- ETOSJXのソフトウェアが起動しない場合は、ランタイムライブラリをインストールして ください。
 詳細は、「1.1 ランタイムライブラリの登録」を参照してください。
- IMEからの入力文字をJIS90の範囲に制限する必要があります。
 設定方法は、「1.2 入力文字をJIS90範囲内に制限する」を参照してください。
- Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows 10では、すべてのアプリケーションでIMEの入力状態が共有されるため、ETOSJXで行ったIMEの入力状態変更が、他のアプリケーションにも影響します(その逆も同様です)。
 ETOSJXによるIMEの自動制御が不要な場合は、ETOSJX-PGのメニュー[拡張パラメータ] - [入力モード指定]で、「IME制御」チェックボックスのチェックを外してください。 なお、Windowsの設定を変更することで、Windows 7以前と同様、アプリケーション毎にIMEの入力状態を保持できるようになります。
 設定方法は、「1.3 アプリケーション毎に入力方式を設定する」を参照してください。
- 6. ブリンキング表示を行ったとき、文字枠が残る場合があります。 Windowsの以下のいずれかの設定を変更してください。
 - 「システムのプロパティ」の「詳細設定」タブで「パフォーマンス」の[設定]ボ タンを押し、「パフォーマンスオプション」の「視覚効果」タブで「スクリーンフ ォントの縁を滑らかにする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
 - ②「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「フォント」の「ClearTypeテキストの調整」を選択し、「ClearTypeテキストチューナー」で「ClearTypeを有効にする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
- 7. Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows 10では、「通常使うプリンター」が 自動的に最後に使用したプリンタに変更される場合があります。Windowsの設定を変 更することにより、「通常使うプリンター」を固定にすることが可能ですので、指定し て印刷を行う場合は、設定を変更してください。設定方法は、「1.4 通常使うプリン ターを固定する」を参照してください。

1.1. ランタイムライブラリの登録

ETOSJXのソフトウェアを起動した際、以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。

| XXXXXXXX.ex | e - システム エラー | × |
|-------------|---|---|
| 😢 M | SVCR110.dll が見つからないため、コードの実行を続行できません。プロ ラムを再インストールすると、この問題が解決する可能性があります。 | |
| | ОК |] |
| | | |
| | ETOSJX(17-1=126) | |
| | 下位モジュールの起動に失敗しました | |
| | ОК | |

これらのエラーメッセージが表示される場合は、以下のランタイムライブラリをインストールしてください。

Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012

※ランタイムライブラリは、ETOSJX CD-ROMに格納されています (¥vcredist_x86¥vcredist_x86. exe)。 または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

1.2. 入力文字をJIS90範囲内に制限する

以下の手順でIMEからJIS90範囲外の文字を入力できないようにしてください。

- (1) Microsoft IMEのプロパティを表示する。
 - ※以下の画面が表示された場合は、 [詳細設定] ボタンを押す。

| 85 | Microsoft IME の設定 📃 🗖 🗙 | | | | | | | |
|-----------------|-----------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| | 予測入力 ✓ 入力履歴を使用する(H) 入力履歴の消去(L) | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | □ 誤変換デーダで日勤的に达信する(C) | | | | | | | |
| プライバシーに関する声明を読む | | | | | | | | |
| | 詳細設定(A) | | | | | | | |
| | OK キャンセル | | | | | | | |

(2) 「候補一覧に追加で表示する文字種」の [詳細設定] ボタンを押す。

| 85 Microsoft IME の詳細設定 🗙 | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 全般 変換 和英混在入力 辞書/学習 オートコレクト 予測入力 プライバシー その他 | | | | | |
| 変換 | | | | | |
| 自動変換を行うときの未変換文字列の長さ: | | | | | |
| ○ 短め(<u>S</u>) ● 長め(<u>L</u>) | | | | | |
| ☑ 挿入時、前の内容を参照して変換する(工) | | | | | |
| □ 異なる文節区切りの変換候補を表示する(<u>P</u>) | | | | | |
| ✓メイン キーボードの数字キーで候補を選択する(<u>B</u>) | | | | | |
| □注目文節が移動するときに移動前の注目文節を確定する(U) | | | | | |
| 候補一覧に追加で表示する文字種: | | | | | |
| ✓ ひらがな(I) ✓ 全角カタカナ(<u>W</u>) □ 半角カタカナ(<u>K</u>) □ ローマ字(<u>R</u>) 詳細設定(<u>D</u>) | | | | | |
| コメントの表示 | | | | | |
| ☑ 文字コメントを表示する(⊻) | | | | | |
| ✓ "環境依存文字"の文字コメントを表示する(E) | | | | | |
| ☑ 単語コメントを表示する(<u>N</u>) | | | | | |
| フォントの固定 | | | | | |
| ☑ 候補一覧のフォントを固定する(X) | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| OK キャンセル 適用(A) ヘルプ | | | | | |

(3) 「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみを変換候補に表示する(J)」チェックボ ックスにチェックを入れてオンにする。

| 送りがなとかな違いの基準 ④ 全部(E) ○ 許容も含める(M) ○ 本則だけにする(R) ○ 本則だけにする(R) ○ 本則だけにする(R) ○ 本則だけにする(R) ○ 本則だけにする(R) ○ 本則だする(R) ○ 本則だけにする(R) <p< th=""><th></th><th>^</th></p<> | | ^ |
|--|---|---|
| | なとかな遣いの基準)全部(E))許容も含める(M))本則だけにする(B) などかな違いの基準 説明と例 すべての送り方が変換候補に出る。 あらわす → 表 めもり → 目 ふきさらし → 吹 | はうにします。 す、表わす 盛り、目盛 き場し、吹きさらし、吹曝し、吹さらし |
| 句読点変換 □ 句読点などの文字が入力されたときに変換を行う(Q) □ 、 / , (Y) ✓ 。 / . (Z) □ 終わりかって(G) ✓ ? (Q) ✓ ! (E) □ ・(X) | | |
| 変換文字制限 ◎変換文字制限をしない(N) ○IVS (Ideographic Variation Sequence) を含む文字を制限する(V) ○サロゲート ペアを含む文字を制限する(U) ○Shift JIS で構成された文字のみ変換候補に表示する(S) ④JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する(J) □ 外字の入力を許す(A) ○印刷標準字体で構成された単語のみ変換候補に表示する(P) | | |

(4) 「OK」ボタンを押して設定を完了する。

1.3. アプリケーション毎に入力方式を設定する

- 1. Windows Server 2019 / Windows 10の場合
 - (1) スタートメニューから [設定] を選択して設定画面を開く。
 - (2) 「デバイス」を選択する。
 - (3) 左側メニューから「入力」を選択する。
 - (4) 「その他のキーボード設定」の「キーボードの詳細設定」を選択する。
 - (5) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チ ェックボックスにチェックを入れてオンにする。

| ← 設定 | _ | × |
|--|---|---|
| ☆ キーボードの詳細設定 | | |
| 既定の入力方式の上書き | | |
| 言語リストの最初の入力方式と異なる入力方式を使用する場合は、ここで選択し ます | | |
| 言語リストを使用します (推奨) く | | |
| 入力方式の切り替え | | |
| ✓ アブリ ウィンドウごとに異なる入力方式を設定する | | |
| ── 使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する | | |
| 言語バーのオブション | | |
| 絵文字パネル | | |
| ✓ 絵文字の入力後に自動的にパネルを終了しない | | |
| 質問がありますか? | | |
| ヘルプを表示 | | |

2. Windows Server 2016の場合

- (1) コントロールパネルを開き、「時計、言語、および地域」-「言語」を選択する。
- (2) 左側メニューから「詳細設定」を選択する。
- (3) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。

| | × |
|--|---|
| 🗲 -> 🔹 🏫 < 時計、言語、および地域 > 言語 > 詳細設定 🗸 👌 コントロール バネルの検索 | Q |
| | ^ |
| 詳細設定 | |
| Windows の表示言語の上書き | |
| 言語リストの順序によって決定された表示言語と異なる表示言語を使用する場合は、ここで選択します。 | |
| 言語リストを使用します(推奨) ~ | |
| ようこそ画面、 システム アカウント、 および新しいユーザー アカウントに言語設定を適用する | |
| 既定の入力方式の上書き | |
| 言語リストの最初の入力方式と異なる入力方式を使用する場合は、ここで選択します。 | |
| 言語リストを使用します (推奨) ~ | |
| 入力方式の切り替え | |
| ✓ アプリウインドウごとに異なる入力方式を設定する | |
| □使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する オプション | |
| 言語バーのホットキーの変更 | |
| Web コンテンツの言語 | |
| □ Web サイトが言語リストにアクセスできないようにし、代わりに日付、時刻、および数値の形式の言語が使用されるようにする。 | |
| | |
| 野完始! Et al | ~ |
| 保存キャンセル | |

1.4. 通常使うプリンターを固定する

- (1) スタートメニューから [設定] を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニュー「プリンターとスキャナー」を選択する。
- (4)「Windows で通常使うプリンターを管理する」を「オフ」に設定する。

| ← 設定 | | - | × |
|-----------------------|--|---|---|
| 命 ホ−ム | プリンターとスキャナー | | |
| 設定の検索 | プリンターとスキャナーの追加 | | |
| デバイス | プリンターまたはスキャナーを追加します | | |
| 똅 Bluetooth とその他のデバイス | | | |
| 品 ブリンターとスキャナー | プリンターとスキャナー | | |
| 🖰 גליד | | | |
| 圖 入力 | Microsoft Print to PDF | | |
| ようと Windows Ink | Microsoft XPS Document Writer | | |
| 自動再生 | NEC MultiWriter8450N NPDL | | |
| 🖞 USB | | | |
| | ── Windows で通常使うプリンターを管理する | | |
| | この設定をオンにすると、現在の場所で最後に使用したフリンターが通常使うフリン ターとして設定されます。 | | |

2章 動作環境

ETOSJXをセットアップするには、以下の環境が必要です。詳細については、ETOSJX CD-ROMの「E TOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJI S V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

(1) スタンドアロン形態

| OS | Windows | 10 Pro | バー | ジョン1903 |
|---------|---------|--------|------|----------|
| | Windows | 10 Pro | バー | ジョン1909 |
| | Windows | Server | 2016 | Standard |
| | Windows | Server | 2019 | Standard |
| メモリ | 12MB | | | |
| ハードディスク | 10MB | | | |

(2) ETOS通信GW接続形態

①サーバ環境

| OS | Windows | Server | 2016 | Standard |
|---------|---------|--------|------|----------|
| | Windows | Server | 2019 | Standard |
| メモリ | 12MB | | | |
| ハードディスク | 12MB | | | |

②クライアント環境

| OS | Windows | 10 | Pro | バージョ | >1903 |
|---------|---------|----|-----|------|-------|
| | Windows | 10 | Pro | バージョ | >1909 |
| メモリ | 12MB | | | | |
| ハードディスク | 10MB | | | | |

- ※上記以外のOS上での動作は保証しておりません。
- ※Windows Server 2016 / Windows Server 2019 のServer Core、Nano ServerおよびTerminal Service環境での動作は保証しておりません。
- ※Windows 10 タブレットモードでの動作は保証しておりません。
- ※仮想環境、ターミナルサービスクライアント環境、リモートデスクトップ等での動作は保証 しておりません。

※Windowsのバージョン情報は、コマンドプロンプトで「winver」を実行して確認してください。

3章 セットアップ

ETOSJXのソフトウェアのセットアップ方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフト JIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイ ド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

4章 アンインストール

ETOSJXのソフトウェアのアンインストール方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入 ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

5章 注意・制限事項

ETOSJXの注意・制限事項については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」も参照してください。

- Windows 10(x64)でN5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合は、製品同梱の 「ETOSJX向けWindows64bit0S用プリンタドライバ」を別途インストールする必要があ ります。
- 2. N5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合、ETOSJX専用プリンタ登録が必要です。 詳細は、導入ガイド「ETOSJX専用プリンタ登録」を参照してください。